

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年1月29日

上場会社名 モリ工業株式会社

上場取引所 東大

コード番号 5464 URL <http://www.mory.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森 宏明

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 濱崎 貞信

TEL 06-4708-1271

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	26,115	△32.4	859	△52.5	828	△52.1	437	△6.4
21年3月期第3四半期	38,656	—	1,810	—	1,731	—	467	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	10.01	—
21年3月期第3四半期	10.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	40,668	21,213	52.2	491.47
21年3月期	43,202	20,886	48.3	476.10

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 21,213百万円 21年3月期 20,886百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
22年3月期	—	0.00	—		
22年3月期 (予想)				4.00	4.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,000	△29.6	1,000	82.4	1,000	134.9	650	—	14.86

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

第3四半期決算の集計結果を踏まえて通期の業績予想を見直しました結果、平成21年5月8日付にて発表いたしました業績予想を修正いたしました。その内容につきましては、本日、別途開示しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 43,872,404株 21年3月期 43,872,404株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 710,374株 21年3月期 3,390株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 43,724,701株 21年3月期第3四半期 44,612,109株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第 3 四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、販売価格の低下・販売数量の減少により 261億15百万円（前年同期比32.4%減）にとどまりました。また収益面におきましては工場稼働率の低下、製品市況下落により期首の製品在庫評価額が割高となったことなどにより営業利益8億59百万円（前年同期比52.5%減）、経常利益8億28百万円（前年同期比52.1%減）、四半期純利益4億37百万円（前年同期比6.4%減）となりました。

しかしながら収益面につきましては、たな卸資産の圧縮・運送費の削減などの経費削減効果に加え、材料価格上昇に伴う製品価格の値戻し効果もあり、第 2 四半期連結累計期間までの赤字決算から黒字決算へと浮上することができました。

製品部門別の概況は以下のとおりであります。

ステンレス管部門では、主力の自動車用・配管用が大きく落ち込みました。しかし自動車用は月を追うごとに回復傾向にあります。その結果、売上高は120億円（前年同期比38.9%減）となりました。

ステンレス条鋼部門では、販売価格の下落が大きく影響し、売上高は76億28百万円（前年同期比32.1%減）となりました。

ステンレス加工品部門では、環境対応型給湯器向けの部品が好調を持続しましたが、家庭用金物製品は振るいませんでした。その結果、売上高は26億36百万円（前年同期比13.5%減）となりました。

鋼管部門では、販売価格の下落が影響し、売上高は26億18百万円（前年同期比14.7%減）となりました。

その他部門では、通信販売用商品は健闘しましたが、パイプ切断機の売上が設備投資の抑制により大きく減少し、売上高は12億31百万円（前年同期比26.7%減）となりました。

なお、部門別の売上高は次のとおりであります。

部門別売上高（連結）

区 分	前第 3 四半期連結累計期間 （自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年12月31日）		当第 3 四半期連結累計期間 （自 平成21年 4 月 1 日 至 平成21年12月31日）		前連結会計年度 （自 平成20年 4 月 1 日 至 平成21年 3 月31日）	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
ステンレス管	19,629	50.8	12,000	46.0	24,286	50.3
ステンレス条鋼	11,230	29.1	7,628	29.2	14,226	29.5
ステンレス加工品	3,048	7.9	2,636	10.1	3,881	8.0
鋼 管	3,069	7.9	2,618	10.0	3,873	8.0
そ の 他	1,679	4.3	1,231	4.7	2,041	4.2
合 計	38,656	100.0	26,115	100.0	48,309	100.0

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当社グループの当第 3 四半期連結会計期間末の総資産は406億68百万円となり、前連結会計年度末に比べて25億34百万円減少いたしました。総資産が減少した主な要因は、資産の部では受取手形及び売掛金が14億83百万円、たな卸資産が21億92百万円それぞれ減少し、負債の部では社債、借入金等の有利子負債が15億87百万円減少したことなどによるものであります。

当第 3 四半期連結会計期間末の純資産は212億13百万円となり、前連結会計年度末に比べて 3 億27百万円増加いたしました。純資産が増加した主な要因は、四半期純利益を計上したことなどにより利益剰余金が 3 億 6 百万円増加したことなどによるものであります。

当第3四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローは、営業活動により47億93百万円の収入となり、投資活動により10億83百万円の支出となり、財務活動により18億65百万円の支出となりました。これらの結果、現金及び現金同等物の残高は、期首に比べて18億44百万円増加し28億66百万円（前連結会計年度末比180.3%増）となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が7億95百万円となりましたが、売上債権が14億83百万円、たな卸資産が21億92百万円、仕入債務が8億12百万円それぞれ減少し、法人税等の支払額が少額であったことに加え、9億2百万円の法人税等の還付金があったことなどにより、営業活動全体では47億93百万円の収入（前年同四半期連結累計期間比111.8%増）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、通常設備投資に加えて投資有価証券の取得などにより、投資活動全体では10億83百万円の支出（前年同四半期連結累計期間は9億3百万円の支出）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済額が借入額を15億83百万円上回ったことに加え、自己株式の取得が1億45百万円、配当金の支払額が1億32百万円であったことなどにより、財務活動全体では18億65百万円の支出（前年同四半期連結累計期間は13億32百万円の支出）となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

第3四半期決算の集計結果を踏まえて通期の業績予想を見直しました結果、平成21年5月8日付にて発表いたしました業績予想を修正いたしました。

その内容につきましては、本日、別途開示しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表作成に特有な会計処理の適用

① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積額を算定しております。

② 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

③ 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,166	1,022
受取手形及び売掛金	12,004	13,488
有価証券	700	—
たな卸資産	7,848	10,041
その他	487	1,585
貸倒引当金	△45	△43
流動資産合計	23,162	26,093
固定資産		
有形固定資産		
土地	7,308	7,308
その他(純額)	6,886	7,196
有形固定資産合計	14,194	14,504
無形固定資産		
その他	31	41
無形固定資産合計	31	41
投資その他の資産		
その他	3,294	2,575
貸倒引当金	△14	△13
投資その他の資産合計	3,279	2,562
固定資産合計	17,505	17,109
資産合計	40,668	43,202
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,150	7,963
短期借入金	3,067	2,526
未払法人税等	39	37
引当金	130	301
その他	2,453	1,510
流動負債合計	12,840	12,339
固定負債		
社債	2,000	3,000
長期借入金	1,441	3,566
退職給付引当金	1,028	1,093
役員退職慰労引当金	488	483
長期リース資産減損勘定	1,531	1,701
その他	125	131
固定負債合計	6,615	9,976
負債合計	19,455	22,316
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,360	7,360
資本剰余金	7,705	7,705
利益剰余金	6,029	5,723
自己株式	△146	△0
株主資本合計	20,949	20,788
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	270	104
繰延ヘッジ損益	△6	△7
評価・換算差額等合計	264	97
純資産合計	21,213	20,886
負債純資産合計	40,668	43,202

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	38,656	26,115
売上原価	32,601	21,452
売上総利益	6,055	4,663
販売費及び一般管理費	4,244	3,804
営業利益	1,810	859
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	46	32
受取賃貸料	24	4
助成金収入	—	25
還付加算金	—	25
その他	32	23
営業外収益合計	102	111
営業外費用		
支払利息	119	100
売上割引	37	26
その他	24	14
営業外費用合計	181	141
経常利益	1,731	828
特別利益		
固定資産売却益	0	—
投資有価証券売却益	3	—
貸倒引当金戻入額	2	—
特別利益合計	6	—
特別損失		
固定資産売却損	9	—
固定資産除却損	2	2
投資有価証券評価損	490	30
環境対策費	53	—
特別損失合計	555	33
税金等調整前四半期純利益	1,181	795
法人税、住民税及び事業税	430	28
法人税等調整額	284	329
法人税等合計	714	357
四半期純利益	467	437

【第3四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
売上高	12,276	9,295
売上原価	10,779	7,003
売上総利益	1,497	2,292
販売費及び一般管理費	1,412	1,296
営業利益	84	996
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	15	7
受取賃貸料	1	1
助成金収入	—	2
その他	7	8
営業外収益合計	24	19
営業外費用		
支払利息	37	28
売上割引	10	8
その他	8	3
営業外費用合計	56	41
経常利益	52	974
特別利益		
貸倒引当金戻入額	2	—
特別利益合計	2	—
特別損失		
固定資産売却損	9	—
固定資産除却損	0	0
投資有価証券評価損	421	30
環境対策費	53	—
特別損失合計	484	31
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△429	943
法人税、住民税及び事業税	△34	9
法人税等調整額	83	199
法人税等合計	48	208
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△478	734

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,181	795
減価償却費	629	611
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	2
受取利息及び受取配当金	△46	△32
支払利息	119	100
売上債権の増減額(△は増加)	1,374	1,483
たな卸資産の増減額(△は増加)	365	2,192
仕入債務の増減額(△は減少)	△13	△812
賞与引当金の増減額(△は減少)	△240	△171
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△40	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△64	△65
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	15	5
投資有価証券評価損益(△は益)	490	30
投資有価証券売却損益(△は益)	△3	—
有形固定資産売却損益(△は益)	9	—
有形固定資産除却損	2	2
その他の資産の増減額(△は増加)	315	△118
その他の負債の増減額(△は減少)	17	△48
小計	4,113	3,975
利息及び配当金の受取額	46	32
利息の支払額	△103	△87
法人税等の支払額	△1,792	△30
法人税等の還付額	—	902
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,263	4,793
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△646	△480
有形固定資産の売却による収入	6	—
投資有価証券の取得による支出	△281	△601
投資有価証券の売却による収入	12	—
関係会社株式の取得による支出	—	△14
貸付けによる支出	△0	△1
貸付金の回収による収入	5	4
投資その他の資産の増減額(△は増加)	△0	11
投資活動によるキャッシュ・フロー	△903	△1,083
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	2,960	2,470
短期借入金の返済による支出	△3,865	△3,895
長期借入れによる収入	500	—
長期借入金の返済による支出	△355	△158
自己株式の取得による支出	△177	△145
配当金の支払額	△395	△132
その他	—	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,332	△1,865
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	26	1,844
現金及び現金同等物の期首残高	1,370	1,022
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,397	2,866

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)および

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

当社および連結子会社は、ステンレス管、条鋼、鋼管およびその加工品・関連製品の製造販売を主な事業としており、全セグメントの売上高および営業利益の合計額に占める割合が、いずれも90%超でありましたので記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)および

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

当社および連結子会社は、海外拠点が存在しないため該当する事項はありません。

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)および

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

該当事項はありません。

<参考資料>

平成22年1月29日
モリ工業株式会社

平成22年3月期 第3四半期決算発表

1. 要約連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期 H21.12.末	前期 H21.3.末	増減		当第3四半期 H21.12.末	前期 H21.3.末	増減
流動資産	23,162	26,093	△2,931	負債	19,455	22,316	△2,861
現金及び預金	2,166	1,022	1,144	支払手形及び買掛金	7,150	7,963	△813
受取手形及び売掛金	12,004	13,488	△1,484	有利子負債	7,533	9,120	△1,587
有価証券	700	—	700	長期リース資産減損勘定	1,531	1,701	△170
たな卸資産	7,848	10,041	△2,193	その他	3,240	3,530	△290
その他	442	1,541	△1,099	純資産	21,213	20,886	327
固定資産	17,505	17,109	396	株主資本	20,949	20,788	161
有形固定資産	14,194	14,504	△310	評価・換算差額等	264	97	167
無形固定資産	31	41	△10				
投資その他の資産	3,279	2,562	717				
資産合計	40,668	43,202	△2,534	負債・純資産合計	40,668	43,202	△2,534

2. 要約連結損益計算書（四半期累計期間）

(単位：百万円)

	当第3四半期 H21.4~12	百分比 %	前第3四半期 H20.4~12	百分比 %	増減
売上高	26,115	100.0	38,656	100.0	△12,541
営業利益	859	3.3	1,810	4.7	△951
営業外収益	111	0.4	102	0.3	9
営業外費用	141	0.5	181	0.5	△40
経常利益	828	3.2	1,731	4.5	△903
特別利益	—	—	6	0.0	△6
特別損失	33	0.1	555	1.4	△522
税引前利益	795	3.1	1,181	3.1	△386
法人税等	357	1.4	714	1.9	△357
四半期純利益	437	1.7	467	1.2	△30

3. 実質有利子負債の比較

(単位：百万円)

	当第3四半期 H21.12.末	前期 H21.3.末	増減
①有利子負債	7,533	9,120	△1,587
②現金、預金、有価証券	2,866	1,022	1,844
実質有利子負債①-②	4,667	8,098	△3,431

4. 当第3四半期の経常利益増減要因（前第3四半期対比）

(単位：百万円)

増益要因	金額	減益要因	金額
1. 原材料を含めた変動費の減少	2,020	1. 販売金額（量・価格含む）の減少	△3,155
2. 固定費の減少	723	2. 割高な期首製品たな卸高による売上原価の引き上げ	△414
		3. その他	△77
計	2,743	計	△3,646
		差引	△903